



杉本知事誕生から1年

徹底現場主義の行方



新元号「令和」とともにスタートした杉本県政。就任時、徹底現場主義を掲げ、県民を主役とした県政に変えていくと決意を語った杉本知事。1年が経過したが、福島県に新しい風は吹いたのか？
西川・川田体制が、杉本・山崎体制に変わっただけ？
北陸新幹線、中部縦貫道特需で潤ってはいるが、投資を呼び込み正規雇用をより多く生み出す企業誘致も重要課題だ。県内サービス業や製造業の非正規雇用制度からの脱出も迫られる。

平成31年4月23日、県庁に初登庁
県政広報 ふくい 2019.6より

議会活性化の急先鋒！

令和新時代に県議会は、議長経験者11名の県会自民党に5名、民主・みらいに3名の新議員が加わり、一気に若返った。少子高齢化、人口減少、地方創生…、待ったなしの課題が山積する福井県政。様々な課題に真摯に、愚直に向き合い、先輩議員に臆することなく積極的に議論する1期生。議会活性化の急先鋒に期待！



山本 建 県議



兼井 大 県議



田中三津彦県議



松崎 雄城県議



山浦光一郎県議



北川 博規県議



渡辺 大輔県議



野田 哲生県議